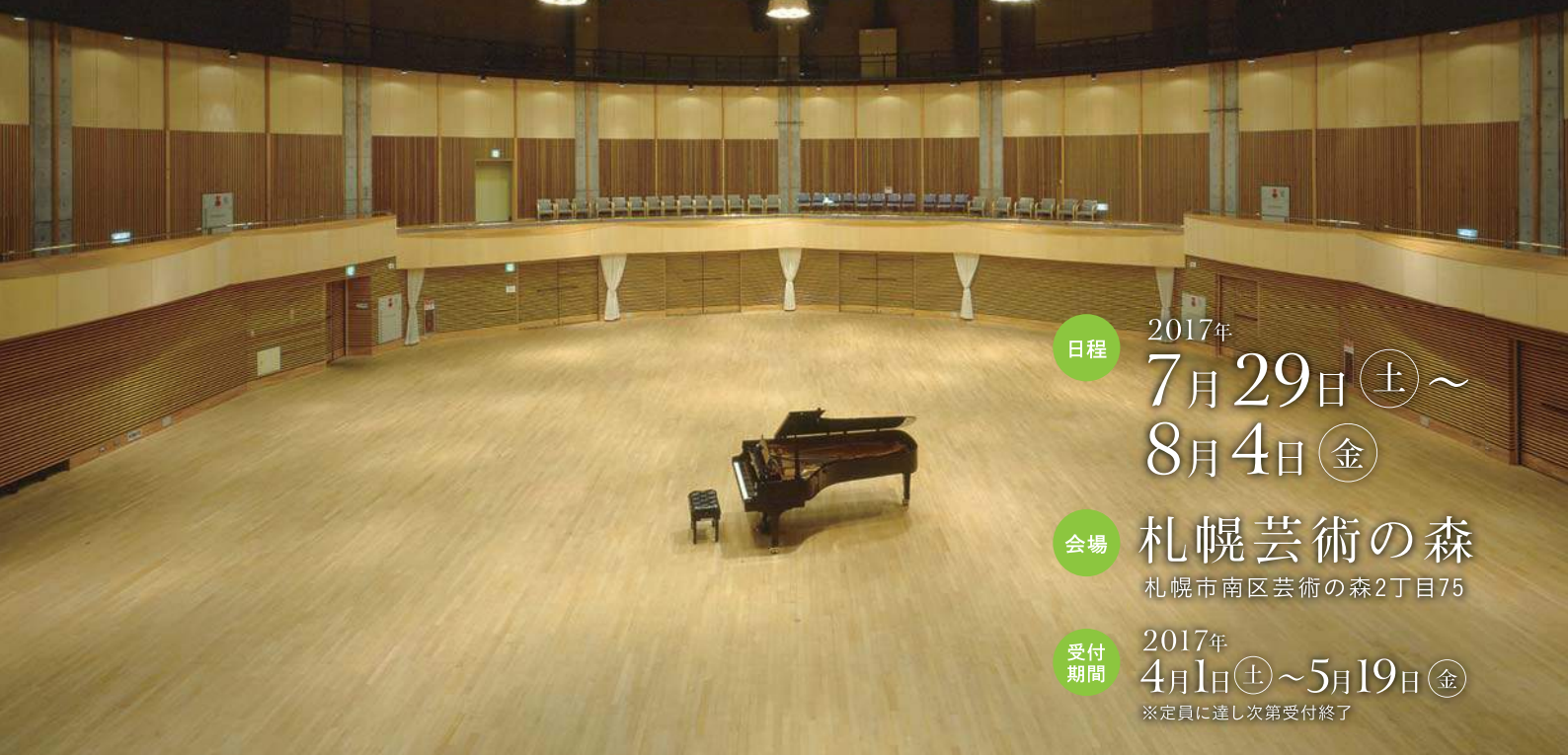




Sapporo Art Park

Ballet Seminar

札幌芸術の森バレエセミナー 2017



日程

2017年

7月29日(土) ~
8月4日(金)

会場

札幌芸術の森

札幌市南区芸術の森2丁目75

受付
期間

2017年

4月1日(土) ~ 5月19日(金)

※定員に達し次第受付終了



緑眩しく爽やかな札幌芸術の森で、
バレエを志す皆さまの参加を待っています。

札幌芸術の森バレエセミナーは、今年で29回目の開催を迎えます。

世界基準の優れたバレエ指導者を迎え、

これまで延べ5,000人を超える受講生がこのセミナーに参加し、

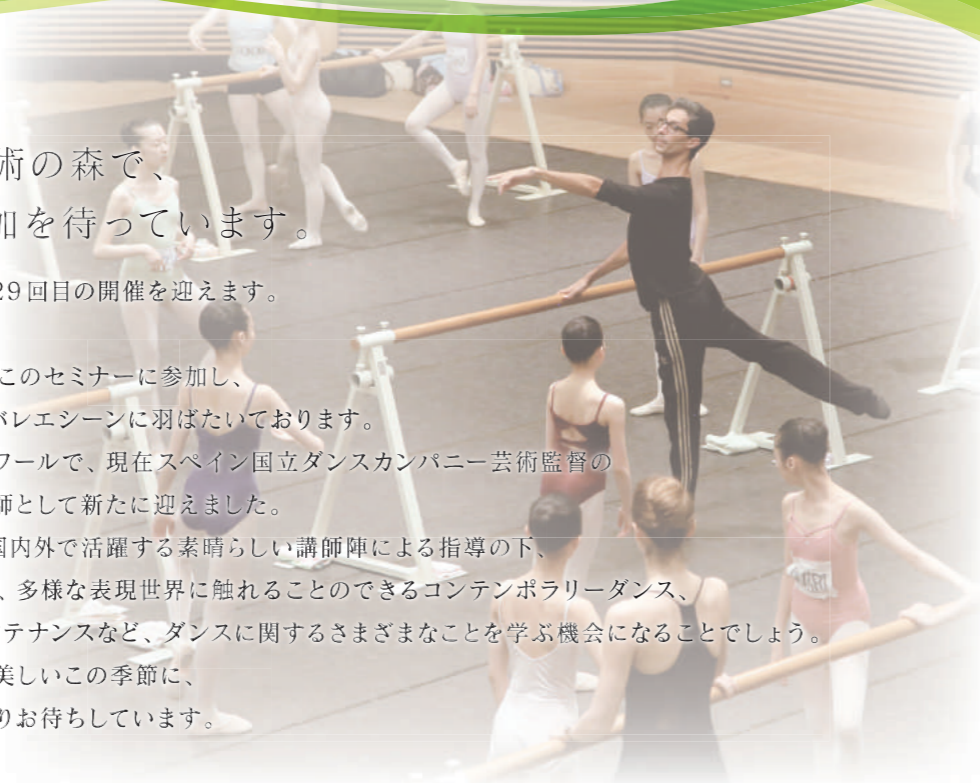
この中から多くの若きダンサーが世界のバレエシーンに羽ばたいております。

当セミナーでは、パリ・オペラ座の元エトワールで、現在スペイン国立ダンスカンパニー芸術監督の
ジョゼ・マルティネズ氏を、昨年、主任講師として新たに迎えました。

マルティネズが呼びかけた指導者たちと国内外で活躍する素晴らしい講師陣による指導の下、
美しくエレガントに舞うように踊るバレエ、多様な表現世界に触れることのできるコンテンポラリーダンス、
そして、心と体の調和に基づく身体のメンテナンスなど、ダンスに関するさまざまなことを学ぶ機会になることでしょう。

緑眩しい夏、札幌芸術の森が一年で最も美しいこの季節に、

充実のカリキュラムで皆さまの参加を心よりお待ちしております。



講師紹介



©Bernardo Doral

José Carlos Martínez
ジョゼ・マルティネズ

- スペイン国立ダンスカンパニー芸術監督
- フランス芸術文化勲章コマンドゥール受賞
- スペイン・ナショナル・ダンス賞受賞

カルタヘナでバレエを始め、ピラール・モリーナに師事。1984年カヌ・ロゼラ・ハイタワー・バレエ学校に入学。1987年ローザンヌ国際バレエ・コンクールでスカラシップを獲得、パリ・オペラ座バレエ学校に入学。1988年ルドルフ・ヌレエフに見出され、パリ・オペラ座バレエ団へ入団。1992年プリンシパルに昇格し、同年、ヴァルナ国際バレエ・コンクールで金メダルを受賞。1997年パリ・オペラ座バレエ団の最高位であるエトワールに任命される。ダンス人生においてこれまでに多数の受賞歴があり、AROP賞、カルポー賞、

レオニード・マシーン賞、スペイン・ナショナル・ダンス賞、カルタヘナ市の金賞、Prize Elegance et Talent France/Chine、Scenic Arts Prize for the best dancer (Valencia)、のほか、自身による『天井桟敷の人々』の振付においては、ブノワ賞とPrize Dansa Valènciaを受賞。また、フランス芸術文化勲章のコマンドゥールを受章。ダンサーとしてのレパートリーは、彼の振付の特徴からもわかるように、クラシックからネオクラシックバレエまで幅広い。その他、20世紀を代表する、モーリス・ベジャール、ピナ・バウシュ、マッツ・エック、ウィリアム・フォーサイス等の振付家達と仕事を共にし、彼のための特別な演目も制作された。また、世界一流のバレエ団にて、ゲストダンサーとしても多数出演歴がある。また、振付家としても才能を発揮し、パリ・オペラ座バレエ学校のために振付けた『ミ・ファポリータ』(2002年)、『ドリーブ組曲』(2003年)、『スカラムーシュ』(2005年)を始め、パリ・オペラ座バレエ団のために振付けた『Paréntesis I』(2005年)、『Soli-Ter』(2006年)、『El Olor de la Ausencia』(2007年)と『天井桟敷の人々』(2008年)がある。更には、上海バレエ団のための『Ouverture en

Deux mouvements and Scarlatti pas de deux』(2009)、『マルコポーロ・ラストミッション』(2010年)、スペイン国立ダンスカンパニーのための『ソナタ』(2012年)、『ライモンダ・ヴァリエーションズ』(2013年)、『ジゼル』(2013年、第二幕パド・ドゥ)、『ドン・キホーテ組曲』(2015年)等の制作も行った。また、ボストンバレエ団のために『レゾナンス』も手がけた。2015年12月16日には、自身の振付によって、スペイン国立ダンスカンパニーの20年の歴史において最初の全幕バレエとなる『ドン・キホーテ』が、マドリドのサルセラ劇場で上演された。2011年9月からスペイン国立ダンスカンパニーの芸術監督。



©K.Hasegawa



©Elias

Agnès Letestu
アニエス・ルテステ

- 元パリ・オペラ座バレエ団エトワール

フランス・パリ生まれ。1983年パリ・オペラ座バレエ学校に入学。1987年ルドルフ・ヌレエフが指揮するパリ・オペラ座バレエ団に「カドリーユ」として入団。1988年には「コリフェ」に、1989年には「スジェ」に昇格。その後、若いダンサーを対象としたユーロビジョン・コンペティションにて金賞を受賞。また、1990年、ヴァルナ国際バレエコンクールにおいて金賞を受賞。すでに「コール・ド・バレエ」の時代か



Anaël Martín
アナエル・マルティン

キューバ国立バレエ団にアリシア・アロンソとフェルナンド・アロンソの両芸術監督の下、25年に渡りファーストソリストおよび指導者として所属。そのキャリアを通して、フェルナンド・アロンソ、カレミア・モレノ、オーロラ・ボッシュ、ロイバ・アラウホ、ジョセフィーナ・メンデス、ミルタ・ブラ、アザーリ・プリセツキ、ヒューゴ・グファンティなどの指導者と制作を共

ら、ジェローム・ロビンス、ウィリアム・フォーサイス、ローラン・ブティ、モーリス・ベジャール、ルドルフ・ヌレエフ、ジョン・ノイマイヤー、イリ・キリアンなどの著名振付家から主役に抜擢され活躍。1997年パリ・オペラ座「エトワール」(プリンシパル・ダンサー)に任命される。ヌレエフ版の古典作品の表現においてその才能を発揮。また、彼女の身体条件とスタイルは、ジョージ・バランシンの作品にとっても大変理想的である。その他、多くの重要なコンテンポラリー作品においても活躍。映像作品としては、パリ・オペラ座バレエ団の公式映像作品のうち『椿姫』、『パキータ』、『白鳥の湖』、『シンデレラ』、『放蕩息子』、『ジュエルズ』中の『ダイヤモンド』に出演。近年は、舞台衣裳のデザイン制作にも携わっており、ジョゼ・マルティネズがパリ・オペラ座バレエ団のために振付した『スカラムーシュ』と『天井桟敷の人々』、パトリック・ド・バナ振付によるウィーン国立バレエ団の『Windspiel』と『マリー・アントワネット』、

ピエール・ラコット振付によるパリ・オペラ座バレエ団の『セレブレーション』、ハンス・スポエルリ振付によるラインバレエ団の『ゴルトベルク変奏曲』のほか、パトリック・ド・バナ振付による上海バレエ団の『Echos of Eternity』などが、主要作品として挙げられる。これまでに、セルジュ・リファール振付による『ミラージュ』でのブノワ賞(2007年)のほか、フランスの芸術文化勲章オフィシエ、国家功労勲章シュヴァリエ、レジオンドヌール勲章シュヴァリエ等、多数の受賞・叙勲受章がある。パリ・オペラ座のソリスト指導者としても活躍。



©K.Hasegawa

にした。カンパニーでは全ての古典のレパートリーを踊り、また、アルベルト・メンデス、アルベルト・アロンソ、イバン・テネリオ等の様々なキューバ人振付家や、アントニオ・ガデス、ホセ・アントニオ・ルイス、マリア・ロヴィーラ、ブライアン・マクドナルド、マクシモ・モリコーネ、ヒルダ・リヴェロス等の国際的に活躍する振付家達と共に、民族舞踊、ネオクラシックやコンテンポラリーのレパートリーの幅を広げた。また、キューバ国立バレエ団と共にアメリカ、アジア、ヨーロッパなど50か国以上をまわり、ロシアのボリショイ劇場やマリンスキー劇場、パリのシャンゼリゼ劇場、プエノスアイレスのコロン劇場やアメリカのメトロポリタン歌劇場、ケネディセンターなどの世界有数の劇場でも公演を行い、更には数々の国内および国際的なダンスフェスティバルにも参加。2001年よりフランスに移り住み、パ

リ・オペラ座で講師及びステージングの振付助手としてブランカ・リー・カンパニーの公演にも参加。その後4年間は、セビリャのアンダルシア・ダンス・センター(CAD)でアーティスティックコーディネーター及び講師を務めた。また、2シーズンに渡りドイツのオペラ・デッサウにナチョ・デュアト(当時)率いるスペイン国立ダンスカンパニーやパリ・ナショナルダンスセンター、リヨン・オペラ座、フィンランドバレエ、ジョゼ・マルティネズ、パリ・オペラ座のソリスト達と共に、指導者として招待を受けた。アンダルシアの全てのプロのダンス・コンセルパトワールや、ジョゼ・マルティネズが芸術監督となったスペイン国立ダンスカンパニーでも2度指導を行っている。2015年の9月より、ジョゼ・マルティネズが芸術監督を務めるスペイン国立ダンスカンパニーに指導者として参加。



Isabelle Hérouard
イザベル・エルアール

イザベル・エルアールはバレエダンサーと講師のキャリアをほぼ同じ時期にスタートさせバレエダンサーとして25年間以上、キャラクター・ダンス（舞台上に合わせて踊る民族舞踊）とバーオソルの講師として45年間のキャリアを持つ。
ジャック・デュエとテレーズ・パローが監督

していたフランス・ダンス国立バレエ団 (Ballet National de Danse Françaises) に5年間、その後、ソリストとしてミシェル (Michel) とミシェル (Michelle) ・ブレーズ夫妻が監督しているフランスのフォーク・ダンス・カンパニー (Compagnie de Danse Populaire Française) に25年間在籍。ヨーロッパやカナダで数多くのツアーを行った。同時にプライベートスクールで子どもたちに、ダンス協会では大人にダンスを教えた。ポーランドを度々訪れ、シロンスク国立バレエ団と共同して、フランス舞踊の講師と振付を担当。1976年に「ジェシュフ」(« Rzesowskie ») というダンス協会を設立し、フランスとポーランドで若いプロフェッショナルとハイレベルのアマチュアのための研修会を多く開設。
1993年にパリ・オペラ座バレエ学校にてキャラクター・ダンスの講師になり、また、プロを目指している人のため、ワルシャワ国

立バレエ学校、シカゴのバレエ学校、チューリッヒオペラ座付属バレエ学校やスクール・オブ・ジ・アーツ・シンガポールなど、いくつかのバレエ学校で講師をしている。
2000年からフランス国内外でバレエの教育学を教えている。
イザベルは協調性を意識しながら、機転を利かしエネルギーを蓄えて精神力を日々鍛錬することを大切にしている。



Mariko Kida
木田 真理子

大阪で生まれ、4歳からバレエをはじめ。国内のバレエコンクールで優秀な成績をおさめた後、2000年ローザンヌ国際バレエコンクールにてスカラシップ賞を受賞し、同スカラシップによりサンフランシスコバレエスクールに留学。
2002-04年アルバータバレエ(カナダ)を経て、2004-09年レ・グラン・バレエ・カナディアン所属、プレミア・ソリストとして活躍。入団後すぐジャン・クリストフ・マイヨの「ロミオとジュリエット」ジュリエット役に抜擢され、その後、ジョージ・バランシン、マッツ・エック、オハッド・ナハリン、イリ・キリアン等バレエ界を代表する振付家の作品を踊った。2007年高門宮殿下記念ローザンヌ・ガラ出演。
2009年、ヨーテポリ・オペラ・ダンスカンパニー(旧スウェーデン・ヨーテポリバレエ)へ移籍。マッツ・エックの眠りの森の美女(オーロラ役)の演技で、ダンス・ヨーロッパ誌にて

「2010年最優秀ダンサー」の1人に選ばれる。その後サシャ・ヴァルツ、ヨハン・インガー、アレクサンダー・エックマン、メディ・ワレスキー等の作品に出演。2011年4月にはヨーテポリにて東日本大震災のチャリティーコンサートを在スウェーデンのアーティスト達と企画・開催した(世界の医療団を通して被災地の長期的医療支援に支援金が送られました)。2012年スウェーデン王立バレエに移籍、2014年よりプリンシパルダンサーとして活躍。ステイン・セリス、ヨハン・インガー、エマニュエル・ガット、シャロン・エヤル、ロイ・アサフ等、コンテンポラリー作品に出演。2013年マッツ・エック演出/振付「ジュリエットとロミオ」の世界初演でジュリエット役を踊り大絶賛される。ドイツ・ダンスマガジン年鑑2013では「31人の注目アーティスト」の一人に選ばれる。2014年5月このジュリエット役でバレエ界のアカデミー賞と言われるブノワ賞(Prix Benois de la Danse)を日本人としてはじめて受賞(ロシア)。このマッツ・エック版「ジュリエットとロミオ」は2015年ローレンス・オリヴィエ賞(ダンス新作部門)受賞。
2014年9月には第42回レオニード・マシーン賞を受賞(イタリア)。2014年文化庁にて文化庁長官表彰(国際芸術部門)、在スウェーデン日本大使館にて在外公館表彰を受ける。
2014年12月ノーベル賞晩餐会にて踊りを披露し、その時の様子が世界中に配信された。インスタレーション・アートにも興味があり、スウェーデンのフォーロー島で行われた世界的な映画監督イングマル・ベイルマンの

フェスティバル「ベイルマン・ウィーク」に参加、アレクサンダー・エックマンによる監修で6人のアーティストと共演(2014年)。オーストリアを代表するアーティスト、マルクス・シンヴァルドの作品「stage complex」にパフォーマーとして参加(2015年、MAGASIN III スウェーデン)。アメリカのビジュアルアーティスト、サラ・アババーネルの作品群「speech forms」にダンサーとして参加(2016年カナダ)で活躍。
2016年夏よりフリーランスとなり、バンフセンターでのダンスプロジェクト参加(カナダ)、ブノワ賞ガラ公演ゲスト(ロシア)、Forceful Feelings公演ゲスト(スイス/ドイツ)、ミラノ・ファッションウィークにて「セルジオ・ロッシ」のファッションショー(イタリア)などに出演し、現在はピナバウシュ・ヴッパタール舞踊団(ドイツ)のゲストアーティストとして活躍中。
2007年立命館大学一産業社会学部卒業。2015年5月より、GYROKINESIS®認定トレーナーとなる。



©Hans Nilsson



Mariko Miyauchi
宮内 真理子

●GYROKINESIS®認定マスタートレーナー

長野県出身。3歳より長野バレエ団にてバレエを始める。1984年東京新聞全国舞踊コンクールバレエ第2部第1位文部大臣奨励賞、同年埼玉県舞踊コンクールバレエ第2部第1位橘秋子賞等、国内でのコンクールにおいて数々の賞を受賞。1987年上京。小野正子バレエスタジオ、東京シティ・バレエ団研究所に入所、東京シティ・バレエ団公演「コッペリア」で主演デビュー。
1989年ローザンヌ国際バレエコンクールにおいてプリ・ド・ローザンヌ・スカラシップ賞を受賞、英国ロイヤルバレエスクールにスカラシップで留学、1990年バーミンガムロイヤルバレエ団に入団。1992年以降はコロラドバレエ団(アメリカ)、新国立



Sayoko Ito
伊藤 さよ子

●GYROKINESIS®認定トレーナー

奈良県出身。3歳より吉田ひかるバレエ教室にてバレエを始める。
1998年 Elmhurst Ballet School に奨学生として留学し、半年後 English National Ballet School に入学。
2001年 Cannes Junne Ballet に入団し、モニク・ルディエールに師事。フランス国内外ツアー公演に出演。

劇場バレエ団(日本)、レニングラードバレエ団(ロシア)他、国内外のバレエ団で主演、客演する。
1994年 USA ジャクソン国際バレエコンクール銅賞受賞。1995年から1年にわたり、東宝ミュージカル「回転木馬」のルイズ役で出演(ケネス・マクミラン 振付)。
1999年 中川鋭之助賞、2000年 芸術選奨文部大臣新人賞、同年、橘秋子賞優秀賞受賞。2005年 天皇陛下、各国大使御臨席の開会式に於いて、佐渡裕指揮するスーパーワールドオーケストラの演奏で、ストラピンスキー「火の鳥」を踊りその模様はNHKで放映された。
2006年にGYROKINESIS®(ジャイロキネシス)、GYROTONIC®(ジャイロトニック)と出会う。自身のボディメンテナンスのために始めたこのメソッドの効果に衝撃を受ける。幼少の頃から抱えていた腰痛他、様々な身体の問題を改善に向かわせ、身体の使い方の再教育を可能にするメソッドだと確信。指導者養成コースを受講し資格を取得。2007年にはジャイロトニックの考案者ジュリオ・ホバス氏在住のマイアミに移住、指導者としての経験を積む。またマイアミ在住中はアメリカ、カナダ、ヨーロッパ等様々な国で後進トレーナーの指導、ダンサーのコンディショニングにも携わる。また指導者としての活動に並行し、

2003年の帰国後、谷桃子バレエ団に入団、2013年の退団までソリストとして踊る。
2005年から現在は、ラ・ダンス・コントラステに在籍。
2013年武蔵野シティバレエ団公演「ロミオ&ジュリエット」では、主役のジュリエットを演じ好評を得る。
他、日本バレエ協会、神奈川芸術劇場 KAATなどの様々な公演の作品に主演・出演する。クラシックバレエだけでなく、コンテンポラリーダンスも共にこなす表現力豊かなダンサーとして高い評価を受けている。
佐藤宏、中原麻里、森山開次、青木尚哉など、多くの振付家の作品に携わっている。
ジャイロとの出会いは、たまたま友人に誘われ受講した宮内真理子のジャイロキネシスクラス。受講後、自身の中に起きる様々な感覚の変化に衝撃を受ける。以降、クラスを受講する度に、

マイアミコンテンポラリーダンスカンパニーに所属、ダンサー兼指導者としてカンパニーのクラシックバレエ、ジャイロキネシスのクラスを担当。
2011年帰国。帰国後は(株)MMKを立ち上げ、日本各地でクラシックバレエの指導、ジャイロトニック・ジャイロキネシスの普及活動を本格的に開始。同年6月は長野に、翌年2012年1月には東京にスタジオを開設。2013年にはジャイロキネシスマスタートレーナーに認定され、指導者の養成にも益々力を注ぐ。また現役時代からの長年に渡った自身の怪我の経験を活かしダンサーのコンディショニング、リハビリに関わりながら、個々の身体におけるバレエの動きの改善や豊かな身体表現に繋がるアプローチ法を追求している。

GYROKINESIS®, GYROTONIC® are registered trademarks of Gyrotonic Sales Inc and are used with their permission



このメソッドに対する興味や探究心が増し、トレーナーになる事を決意、GYROKINESIS®, GYROTONIC®のトレーナー資格取得。
現在は、宮内真理子主宰 MMK東京スタジオに所属。ダンサーとしての活動と並行し、バレエ教師、ジャイロキネシス、ジャイロトニックのトレーナーとしても活動中。

GYROKINESIS®, GYROTONIC® are registered trademarks of Gyrotonic Sales Inc and are used with their permission



©池上直哉

受講内容・受講料

※料金は全て税込みです。

クラス※1	必修レッスン	講師	時間(回数)	受講料	備考※3
上級 経験6年以上 高校生以上 (定員:20名)	クラシック・レッスン クラシックバレエの基礎を学ぶ	ジョゼ・マルティネス	120分(6回)	女子 ¥172,000	●上級と中級シニア混合
	ポアント&ヴァリエーション ポアント&ヴァリエーションの理解を深める	アニエス・ルテステ	90分(6回)		
	コンテンポラリー・ダンス コンテンポラリーを学び表現の幅を広げます	木田 真理子	90分(6回)	男子 ¥167,000	●用意するもの:ニーパッド ●用意するもの:ヨガマット、タオル、水 ●服装:動きやすい格好 ●足下:靴下、裸足になれる準備
	ジャイロキネシス 長く健康的に踊り続けることのヒントとなるクラス	宮内 真理子	70分(6回)		
	座学 「ダンスを通して私が得たもの」 「ダンサーのためのボディメンテナンス ～身体の仕組みと心のつながり」	木田 真理子 宮内 真理子	60分(1回) 60分(1回)		
中級シニア 経験6年以上 中学2年生以上 (定員:20名)	クラシック・レッスン	ジョゼ・マルティネス	120分(6回)	女子 ¥172,000	●上級と中級シニア混合
	ポアント&ヴァリエーション	アニエス・ルテステ	90分(6回)		
	コンテンポラリー・ダンス	木田 真理子	90分(6回)	男子 ¥167,000	●用意するもの:上級と同上 ●用意するもの:上級と同上
	ジャイロキネシス	伊藤 さよ子	70分(6回)		
	座学 「ダンスを通して私が得たもの」 「ダンサーのためのボディメンテナンス ～身体の仕組みと心のつながり」	木田 真理子 宮内 真理子	60分(1回) 60分(1回)		
中級ジュニア 経験4年以上 小学6年生以上 (定員:30名)	クラシック・レッスン	ジョゼ・マルティネス	120分(6回)	¥125,000	●用意するもの:上級と同上
	ポアント&ヴァリエーション	アナエル・マルティン	90分(6回)		
	ジャイロキネシス	宮内 真理子	70分(6回)		
初級 経験1年以上 小学3年生以上 (定員:30名)	クラシック・レッスン	アナエル・マルティン	120分(6回)	¥100,000	●用意するもの: トウシューズ(お持ちの方のみ) ●用意するもの:上級と同上
	ポアント・ベーシック	アナエル・マルティン	60分(6回)		
	ジャイロキネシス	伊藤 さよ子	70分(6回)		

選択レッスン	講師	対象	時間(回数)	受講料	備考※3
キャラクター・ダンス	イザベル・エルアール	上級・中級シニア混合(定員:32名) 中級ジュニア・初級混合(定員:32名)	90分(6回)	¥43,000	●男女共通:バレエシューズ ●男子:動きやすいパンツ or ジーンズ ●女子:ロングスカート(ふくらはぎにかかる長さ) ヒールのあるダンスシューズ(ストラップ付)
コンテンポラリー・ダンス	木田 真理子	中級ジュニア・初級混合(定員:30名)	60分(6回)	¥30,000	●用意するもの:ニーパッド ●上級・中級シニアは必修のレッスンに含まれています
ポーズ・クラス	ジョゼ・マルティネス	上級・中級シニア・中級ジュニア混合 (男子のみ)	60分 ※期間中3回を予定 7月30・31日、8月2日	¥23,000	●7名以上で開講
ジャイロキネシス 正しい身体の使い方を学ぶ	宮内 真理子 伊藤 さよ子	保護者・一般	70分 ※期間中4回を予定 7月29・31日、8月2・4日	¥14,000	●用意するもの:上級と同上

座学(8月1日)	講師	対象	時間(回数)	受講料	備考
「ダンスを通して私が得たもの」	木田 真理子	中級ジュニア・初級混合 (定員:60名) ※一般・保護者の方も受講可能	60分(1回)	¥3,000 (2コマセット料金)	●上級・中級シニアは必修のレッスンに含まれています。 ●一般・保護者の方も受講可能ですが、中級ジュニア・初級の子どもたち向けの内容での座学となります。 ●レッスン見学バスで座学をご覧いただくことはできません。
「ダンサーのためのボディメンテナンス ～身体の仕組みと心のつながり」	宮内 真理子		60分(1回)		

トークイベント	日時	内容	対象	参加料
交流会 ～ジョゼ先生を囲んで～	8月1日(火) 15:30～17:00(予定)	主任講師のジョゼ・マルティネスをはじめとする講師陣と、受講生・保護者の皆さまによるお茶会です。	受講生 保護者・一般	¥2,000 ¥3,000

レッスン見学	申込方法・見学内容	受講料	備考
受講生	●事前予約の必要はありません。当日、会場受付までお越しください。 ●見学スタジオは、「アリーナ」と「大練習室」のみとなります。	無料	●必修レッスンの受講生に限ります
一般(大人)		6日間通し券: ¥9,000 1日券: ¥2,000	●レッスン中の写真撮影・録音録音は固くお断りさせていただきます。 ●レッスンの妨げとなる場合がありますので、小さなお子様の見学はご遠慮ください。
一般(小中高生)		6日間通し券: ¥4,500 1日券: ¥1,000	

※1. 講師の判断により、受講後にクラスが変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※2. 各レッスンは受講希望者数により、クラス混合で行う場合がございます。

※3. 各レッスンでご用意頂くものについては、備考欄に記載しておりますが、詳しくは受講申込後に改めて受講希望の皆さまにご案内いたします。

受講申込について

● 送付書類

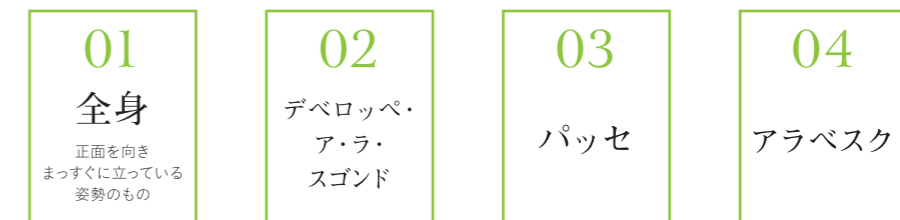
受講申込書に必要事項を記入の上、指定の4種類のポーズ写真(裏面に氏名・受講クラスを明記)を同封し、下記事務局までお送りください。※お電話やFAXでのお申込はお受けできませんので、ご注意ください。

① 受講申込書(必ず顔写真を添付ください。)

- 複数人数でお申込の場合は、申込書をコピーの上ご利用ください。ただし、拡大・縮小はしないようお願いいたします。
- ご記入いただいた申込書を1部コピーし、ご自分の控えとしてお手元に保管されることをおすすめいたします。
- 顔写真は、正面を向いているもので、6ヶ月以内に撮影したものをお願いいたします。(スナップ写真の切り抜きでも可)
- 当日、講師の判断により、ご希望とは別のクラスの受講をおすすめする場合がございます。あらかじめご了承ください。

② ポーズ写真4点

指定ポーズ



- 写真の裏面に氏名と受講希望クラスをご明記ください。
- 写真のサイズは通常のサービス判(13×10cm以内)で、モノクロ・カラーどちらでもかまいません。
- レオタードなど身体のラインがはっきり見える稽古着をご用意ください。
- シューズは、トウシューズ、バレエシューズのどちらでもかまいませんが、足先が切れないよう全身を撮影してください。
- 写真スタジオで撮影をする必要はありません。ご自宅や稽古場でのスナップ写真でもかまいません。
- 初級クラス受講希望者で、上記ポーズを取ることが難しい場合は、01の全身写真のみでもかまいません。

● 受付期間

2017年4月1日(土)～5月19日(金) ※必着。余裕を持ってお早めにお送りください。

- 受講希望者数が定員を上回った場合、お申込み順にて受付させていただきます。
- キャンセル待ちを承ることは可能です。

● 受講受付確認のお知らせ

- 申込み締切り後、受講に関するお知らせ及び受講料のご案内をお送りいたします。
- お申込み状況により、クラス編成やスケジュール調整に数週間のお時間をいただく場合がございます。
- 6月に入りましても詳細案内が届かない場合は、お手数ですが、下記事務局までお問い合わせください。
- ご入金後のキャンセルはできませんので、何卒ご了承ください。

● 受講申込・問い合わせ

札幌芸術の森バレエセミナー 事務局

〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75 札幌芸術の森事業課

☎ 011-592-4125 ☎ 011-592-4120 ✉ info@geimoriballet.jp 🌐 http://geimoriballet.jp/

私たちは「人と人との出会い」と
そこから生まれる「コミュニケーション」を大切にし、
心豊かな社会の発展に貢献します。



さわやかな旅だち

名鉄観光

<http://www.mwt.co.jp/>